

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(奇数月発行)

おかげさまでNAZEは設立10周年

NAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.52
20160129

FREE
0円

CONTENTS :

会長新春のご挨拶

特別寄稿 長岡技術科学大学 東学長～

『長岡から世界へ! 「地産世消」に長岡技術科学大学が動きます。』

平成27年度 第2回通常総会のご案内

NAZE NEWS

デザインコラム Season2 vol.11



na.ze.



NAZE 会長
小西 統雄
(株)小西鍍金 技術顧問

新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。

今年は12年ぶりの雪のない年明けとなりました。12年前の平成16年も、雪のない年明けでした。私の手元には、その年1月4日（曇りのち晴れ）にゴルフコースをまわったスコアカードがあります。ただ、同年7月には、新潟・福島豪雨。そして、10月23日には、中越大地震が発生。企業も甚大な被害を受けました。

NAZEはこの大震災前から策定を進めてきた「新潟県アクションプラン」をベースに、大震災の翌年、産声をあげました。NAZE、そして地域が一丸となって、震災からの復興に取り組んできたことが、今も記憶に鮮明に残っています。

NAZE誕生から10年の歳月が過ぎ、去年は10周年記念式典を開催することができました。ここまで、多くの皆様に支えてきていただいたことに改めて感謝申し上げます。

ここ最近、近隣諸国と日本の関係について憂慮しています。韓国との様々な問題、北朝鮮の水爆実験・・・。また、中国では、中国から撤退する日系企業が相次いでいます。中国経済の不安が現実化し、年明け早々から中国経済に激震が走り、株式市場と人民元レートの急落が世界の注目を集めています。戦略の見直しが急務のようです。世界には優秀な水先案内人が必要なかもしれません。

今後、NAZEは、さらなる会員情報の発信に取り組んでまいります。ホームページの改善のほか、各種展示会等に積極的に参加し、NAZE、そして長岡地域の優れたものづくり技術を広く発信したいと考えております。会員の皆様からは、この機会を積極的にご活用いただきたいと思っております。また、大学・高専等の学生との交流・連携も今まで以上に充実を図り、新たな企画を展開していくことにしています。

長岡地域のものづくりが、活気あふれるものとなるよう、スタッフ一同がんばってまいりますので、本年も宜しくお願いいたします。



NAZEは現在73会員！

法人69・個人4

- | | | | | |
|------------------|------------------|---------------------|-----------------|------------|
| (株)アサヒプレジジョン | (株)カバサワ | 第四電設(株) | 長岡電子(株) | マコー(株) |
| 飛鳥運輸(株) | 久保誠電気興業(株) | (株)タカキ | (株)永島工機 | (株)丸栄機械製作所 |
| (株)アドテックエンジニアリング | (有)倉品鐵工 | (株)タカハシ | (株)中津山熱処理 | (有)毛利製作所 |
| (株)アルモ | クリーン・テクノロジー(株) | 中越鋳物工業協同組合 | (株)ナノテム | ユニオンツール(株) |
| (株)アンドウ | クリエイトエンジニアリング(株) | テラノ精工(株) | (株)難波製作所 | 長岡工場 |
| (株)イトラスト | (株)小西鍍金 | (株)トーエイ | 新潟工科大学 | 吉井国際特許事務所 |
| (株)池田機工 | (有)小林超硬研磨 | ナウエス精工(株) | (株)ネオス | |
| エヌ・エス・エス(株) | (株)サカタ製作所 | (株)長岡金型 | (株)パートナーズプロジェクト | 安達弘哉 |
| (株)N D C | (株)佐藤板金 | 長岡技術科学大学 | (株)林メッキ工業所 | 高田孝次 |
| (株)エム・エスオフィス | (株)システムスクエア | 産学官・地域連携／
知的財産本部 | (株)BSNアイネット長岡支社 | 廣井 晃 |
| (有)エムケイ技研 | (株)七里商店 | 長岡工業高等専門学校 | (株)淵本鋼機 | 柳 和久 |
| (株)オオイ | (株)シナダ | 長岡信用金庫 | (株)ブラカード・ジャパン | |
| (株)大善 | (有)シンエー木型工業 | 長岡造形大学 | 古川機工(株) | |
| (株)大原鉄工所 | (株)鈴民精密工業所 | 地域協創センター | (株)プレテック・エヌ | |
| (株)大菱計器製作所 | (株)ソリマチ技研 | 長岡大学 | (株)北越銀行 | |
| 小川コンベヤ(株) | (株)大光銀行 | 地域連携研究センター | (株)ホクギン経済研究所 | |
| (株)片山扳型製作所 | (株)第四銀行 | | 北陽精工(株) | |

(H28.1.29現在)

長岡から世界へ!

「地産世消」に長岡技術科学大学が動きます。

いま世界ではICTが急速に発展し、産業構造やビジネスの仕組みが大きく変わる「大変革時代」と言われています。欧米は「モノのインターネットや第4次産業革命」でリードし、日本の産業界は一步遅れを取っているとされています。ビッグデータや人工知能の発展で世界が大きく変わりそうです。これまでのように日本の内だけを向いていると、気が付いた時には欧米・アジアの企業が日本の市場を席卷しているということになるかもしれません。

このように近年の急速なグローバル化に対応し、グローバルな視点で地域の強みを見出し、国際競争力を持つ新産業の創出と海外展開を行う人材の育成が急務となっています。本学は全国の高専と豊橋技科大と連携して、各地の地域企業と産学共同研究プロジェクトを盛んにし、さらにグローバル展開を推進しています。市場のニーズを捉え、実践的な研究開発を進める中で、イノベーションを生み出す技術者を育成するという、高専-技大連携教育でしか成し得ない教育プログラムですが、これを新興国・途上国に展開し、グローバルなネットワークで実践的技術者の育成・供給と地域中小企業の活性化支援を進めていきます。

平成26年には文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択されました。この事業では中南米、アジア、欧州、アフリカの海外拠点校に本学の教育システムを輸出し、その国際的ネットワークで協働してグローバルな実践的技術者を育成し、さらに中小企業の海外展開を支援する取り組みを進めています。学生は世界に展開した産学融合キャンパスを自由に移動でき、希望する環境で教育を受けることができ、技大の学位を取得することを目指しています。世界各国の学生・教員・技術者・企業人と一緒に学ぶことにより国際力を身に付けることができます。このようにグローバルに活躍する技術者・

研究者の育成と研究開発・新産業創出を世界規模で行います。

特に、日本の中小企業の販路の海外展開の支援を重要な項目と位置づけ、マーケットを海外に求めるオンリーワン技術を持つ地方中小企業・ベンチャー企業群との共同研究開発の実施、現地企業とのリエゾン等、製品開発への現地ニーズ探索を含め、グローバル展開を支援していきます。このグローバル技術テクノパークネットワークはメキシコ、モンゴル、ベトナム、タイ、マレーシア、インド、スペインなどの戦略的海外拠点との間ですでに進行中です。

また、地元の長岡に就職する学生（日本人および留学生とも）を増やすために、学生に地元企業をもっと知ってもらう取り組みを進めたいと思っています。本学は学部4年生で国内外の企業に長期インターンシップ（約5か月）に行く実務訓練という制度がありますが、今年からは大学院の学生が地元企業にインターンシップに行き、技術開発や製品開発に取り組む教育プログラムを進めます。長岡には世界に誇れるオンリーワン技術を持ったモノづくり企業が多数集積しています。是非、留学生を含め本学の学生・大学院生を地元の多くの企業に受け入れていただき、そして、本学とともに、世界に長岡の技術を発信して行こうではありませんか。よろしくお願いいたします。

長岡技術科学大学

学長 東 信彦



平成27年度 第2回通常総会のお知らせ

3月14日(水)、長岡グランドホテルを会場に、第2回「通常総会」を開催いたします。

また、通常総会と併せて、会員や学生による「事業成果発表会」、並びに「豪技 2016 認定式」、「交流会」も開催します。

会員並びに関係機関の皆様へは、後日改めて、正式にご連絡いたします。多数の皆様方からのご参加をお待ちしております。

昨年の様子 (H27.3.12)→



第10期NEXT道場修了

5月に開講した10期NEXT道場、全13回（初級6回、上級7回）のカリキュラムを10名全員が無事修了しました。半年余の長い期間の開催でしたが、出席者のレポート提出率は100%で、最後まで熱気がみなぎっていました。講師の方々からは、丁寧に講義や質問への回答をいただき理解が深まったとともに、塾生同志のネットワークも出来ました。

塾生の感想

久保 勇太

(久保誠電気興業株式会社 社長室 経営企画担当 執行役員)

NEXT道場には『経営とはどういうものなのか』を学びたいと思いで参加しました。

講義では、経営の本質や会社の方向性に関わる話などの経営の基礎から、安全管理や財務分析、マーケティングに至るまで幅広い分野について学ぶことができました。また受講者の方々との交流においても、会社ごとの取り組みの違いや各社の困りごととその解決策など、普段は聞くことのできない話を聞くことができました。

今回の受講は間違いなく今後の人生の大きな糧になると確信しています。半年間ありがとうございました。

講師からのコメント

財務分析 講師 浅妻 充

(株式会社 北越銀行 コンサルティング営業部 調査役)

第10期のNEXT道場修了おつかれさまでした。

私が担当する財務分析の3回の講義は、決算書の基礎知識、見方などの講義の他、銀行がどのような視点で企業を見ているか、どのように付き合えばよいかなど今後の皆さんのキャリア形成の中で考えるきっかけになったかと思います。

財務分析を習得することは、難しいことかもしれませんが、まずは基礎となる用語の意味をしっかりと理解することから始めてみてください。その知識が、きっと活かされる時が来ると信じています。



NAZE 平成27年度「全体会議」を開催！！

12月15日(火)、ホテルニューオータニ長岡にて、平成27年度「全体会議」を開催し、会員並びに支援機関、関係者など約80名からご参加いただきました。

今回は、全体会議の開催に合わせて、情報提供として、関東経済産業局 地域経済部 地域振興課長の近藤かおる氏から、「経済産業省による中小企業支援～成長戦略『3つの見える化』および平成28年度経済産業政策の重点～」についてご講演いただきました。

全体会議では、事務局から今年度のNAZE前半期活動報告を行わせていただいた他、新入会員の(株)淵本鋼機 淵本社長から、自社についてプレゼンいただきました。

また、交流会では会員並びに関係機関等の交流を一層深めました。



交流塾修了しました

7月17日から12月10日まで全10回を終え、修了式を迎えました。とても楽しく、良い雰囲気の中で、コミュニケーション向上に役立ったと思われます。今回は塾生を代表して(株)片山抜型製作所の日根さんから全体の感想を、モーガン講師から塾生へのメッセージを英文でいただきました。皆さんも是非、交流塾を体感してみてください。

We have learned business english in NAZE Kouryu-Juku about half a year. This is the second season of Kouryu-Juku. Some of students are new member who joined from this season, and others are continuously joined from first season like me. We could learn in a relaxed atmosphere.

In the first season, we learned english and some mini-lectures from persons who related to oversea business,

on the other hand, the mainly of this season is a learning english conversation by Mr Morgan as teacher.

We learned some actual situations, for example self introduction, answering by phone, correspondence of way in hotels and restaurants, and more.

I think probably these are useful in day life and actual business scene when we go to oversea.

Actually we could learn not only text book but also realistic english from Mr Morgan,

Its valuable experience of us.

However, my English skill is not enough still now.

If it possible, I would like to attend again.

Thank you Mr Morgan, other students and NAZE staffs, all related people.

-Akira Hine

昨年度に引き続き、約半年間に渡り NAZE 交流塾に参加させて頂きました。

今回で交流塾も2年目、受講生には今年度からの新メンバーの他、私含め昨年度から継続して参加されている方も多く、リラックスした雰囲気の中で、学ぶことが出来ました。

昨年度は英会話の他に海外ビジネスに関連する方々のミニ講演がありましたが、今年は英語の講義が主体とのことで、モーガン先生から英会話を学びました。

自己紹介に始まり電話での対応やホテル・レストランでの対応の仕方などの具体的なシチュエーションが多く、実際に海外に行く際に、ビジネスや日常会話などで充分役立つものと思います。教科書通りだけでは無く、モーガン先生からはより現実的な英会話を教わる事が出来、大変良い経験になりました。

しかしながら、まだまだ私の英語力は未熟なものですので、可能であればまた次年度も参加させて頂きたいと思います。

モーガン先生、受講者および NAZE 事務局の皆様、大変お世話になり有難う御座いました。

全ての関係者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

株式会社 片山抜型製作所 長岡事業所
研究開発課 & 生産管理課 日根 哲



以下はモーガン講師より、交流塾塾生へのコメントです。

Happy New Year! I hope you all had a wonderful time. It is now 2016, so let's make this the best year we can. Thank you to everyone who attended the business Eikaiwa course last fall. I enjoyed seeing you all improve and gain confidence in English. Your English does not need to be perfect. It is OK if we make mistakes, trying is the only way to improve!

This spring, I hope you continue to practice English on your own- read, listen to the radio, anything is OK.

Finally, I look forward to seeing you again this fall and having fun together practicing English.

We can do it! Never give up! Kome-hyappyo spirit!

-Morgan

平成27年度 第2回 「にいがたナノ基盤技術実践会」 講演会 開催

NAZEが事務局を担当する、「にいがたナノ基盤技術実践会」の講演会を12月7日(月)に開催いたしました。

サムコ(株)取締役常務執行役員の山葉隆久氏と新潟大学 工学部 助教の寒川雅之氏からご講演をいただきました。

なお、第3回講演会は、平成28年3月10日(木)に開催予定です。



産学連携強化を目指して 「産学連携実務担当者連絡会議」 を開催!

12月9日(水)、長岡地域の大学・高専等の連携強化を目指し、産学連携実務担当者会議を開催。

互いの事業等について、情報交換を行うとともに、協力・支援体制などを確認しました。



デザイン・技術融合のバランス領域をより広範に! =2015年度グッドデザイン大賞に思う=

新年を迎えるに当たり、皆さんはどのような目標を掲げたでしょうか。その目標に『次代への飛躍を期し、「今求められる真のデザイン思考」の追求・遂行に取り組む』を加えることを願い、以下の話を進める。

既にご承知のように、2015年度のグッドデザイン大賞には、WHILL株式会社の「パーソナルモビリティ」(写真:上)が選出された。その開発コンセプトに含まれた要素は大いに参考にしたい。「ユーザーにより魅力ある商品を提示していくモノ開発の思考要件」が良く見えてくる。そこからは「今までの概念を根本的にと見直す深い意味のデザイン」を考えることの重要性が伝わってくる。今日のデザインの先端には最前線の思考があるので、改めて最新のモノづくりの方向はどうあればよいかを探り、どのようなものをどこに着地させればよいのか、企画段階からしっかり見極めたい。(ここには最近のモノデザイン情報を語れないのは残念だが・・・)

2015年度グッドデザイン大賞



パーソナルモビリティ WHILL 株式会社

昨年は、2020年東京オリンピックのエンブレムや国立競技場(メイン会場)など、デザインに関わる話題が沸騰した。それは、デザインへの関心が高まったと同時に、デザインは何を基準に善し悪しを考えれば良いのかという、評価の曖昧さを際立たせることにもなった。

2015年の「グッドデザイン大賞」商品の特徴を唱う概要からは、デザインの実施に当たっての必要・十分な条件は、「Design・Technology・Softwareの融合バランス」であり従来と変わらないが、それぞれの詳細条件・内容は大きく変わってきていることが見える。

(以下HP:「2015年度グッドデザイン大賞」より引用。私見を加えるので、含めて参照してほしい。)

- ・この商品のネーミング、車椅子ではなく「パーソナルモビリティ」と商品概念を拡大しているところが新しい。
- ・【Design:これまででない、高い機能と美しいデザインの融合】バランスの良い機能開発/美的側面。
- ・【Technology:高い走破性と小回りを両立させる特別なタイヤ】タイヤの概念が広げられている。
- ・【Software:進化を続けるソフトウェアで、これからもずっと、もっと便利に】先端のIT技術を最大活用。

なお、今年の大賞候補には他に7点(下図)が選出されている。これらについても検討、デザインの今日性・重要性を検証してほしい。

2015年度グッドデザイン大賞候補のとなった他の7件



電動義手
exiii 株式会社



乗用車
トヨタ自動車株式会社



道の駅
一般社団法人周南ツーリズム



道の駅
一級建築士事務所スター



和食給食推進事業
合同会社五穀豊穰



液晶ディスプレイ
シャープ株式会社



ビッグデータビジュアライザー
株式会社タクラム・デザイン・エンジニアリング

*写真は、HP「[グッドデザイン賞] 2015年度の大賞候補」より

(C)JDP GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org>

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!

NAZE くわしくは → <http://www.naze.biz/>

Nagaoka Activation Zone of Energy
長岡産業活性化協会 NAZE

●記事内容についての感想をお待ちしています!

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
TEL: 0258-42-8700 FAX: 0258-42-8701 E-mail: info@naze.biz

印刷: 有めぐみ工房

